

# 東京都立園芸高校の

## 「令和4年度社会の人材を活用した教育を実現するための授業支援」を引き継いだ「令和5年度成果報告会」に参加しました 11月17日(金)

「令和4年度社会人の人材を活用した・・・」というタイトル、令和5年度の誤りではありません。令和4年度の成果を今年度に引き継ぎ、今年度に都立学校として初めて東京都を商標権者として「商標登録」へと進んできた「報告会」です。

令和4年度は、企業のデザイナーや洋菓子店のパティシエと連携し、「新しい商品開発」や「ブランディング」などの実践的な活動を経て、「カヌレード」を誕生させました。「カヌレード」とは、フランス菓子の「カヌレ」と園芸高校産の「マーマレード」を融合させたお菓子です(写真)。

令和5年度は、この成果を今年度の「食品科商品開発チーム」に引き継ぎ、改良と改善を加え、商標登録をすることへとつながりました。今後の活動が大いに期待できる報告会でした。

詳しくは学校HP (<https://www.metro.ed.jp/tokyo.jp/>) をご覧ください。



# 東京都立園芸高等学校 食品科

社会の人材を活用した教育を実現するための  
授業支援指定校の取り組み



令和4年度社会の人材を活用した  
教育を実現するための授業支援指定校の取り組み

園芸高校食品科は教育庁指導部事業「令和4年度社会の人材を活用した教育を実現するための授業支援研究指定校」を受け、企業のデザイナーや洋菓子店のパティシエと連携し、新たな商品開発やブランディングなどの実践的な活動を行ってきました。

商品の開発・販売の視点を取り入れ、「世の中で売れるような商品とは何か」「園芸高校自慢のマーマレードを活用して新しい商品の開発はできないか」をテーマに1年間取り組みました。

「新しい商品開発」というテーマでは園芸高校の静岡県下田農場のマーマレードを活用し、生徒自ら考案した新製品のコンペティションを実施。企業ゲスト2名、学校長を迎え、審査をしていただきました。フランス菓子である「カヌレ」と「マーマレード」を融合させて誕生した「カヌレード」が最優秀賞に選ばれました。

「世の中で売れる商品とは何か」というテーマでは、最優秀賞に輝いた「カヌレード」のパッケージデザインコンペティションを行いました。ブランディングでは、「商品を目見たときにストーリーを感じられるような物であるか」が大切であり、カヌレードの誕生ストーリーから製品の美味しさ、可愛いシルエットが分かるデザイン、SGDs地球環境への配慮をしたパッケージを各々が考案しました。

この取り組みにより、「食品科商品開発チーム」が発足。まさに「起業家精神」を生徒が主体的に学習しています。「商品開発チーム」は今後も常に改善し、改良、進化し続けていきます。

## —世の中で売れる商品とは— 起業家精神を養う



## 「カヌレード®」の商標登録 そして今後の展望

生徒が考案したカヌレード®が特許庁長官により商標登録原簿に登録されました。都立の学校として学校自身が取得した初めての登録商標となりました。

今回「カヌレード®」が商標登録されたことで、アントレプレナーシップを学ぶことができる場を広げていきたいと考えています。問題発見能力やリーダーシップ、創造性を身に付けるとともに、実際に企業が抱えている課題を題材にし、その解決方法についても考えていきたいと思っています。



\*\*\*\*\*  
スタートアップと共に、新しい時代を切り拓き、課題解決と生徒の成長につなげる取り組みを今後も進めて参ります。



都立園芸高校HPのコンテンツの一つ「校長ブログ」には、園芸高校・農業に関する情報がたくさん紹介されています。校内の情報だけでなく、国内外の友好校との交流や連携、地元企業との連携、スマート農業等々、情報は盛りだくさんです。